



向陽台小だより

2月号

令和4年1月31日

富田林市立向陽台小学校



はる
春はそこまで来ています



こうちょう こむら かつとし
校長 古村 勝俊

校庭では、鮮やかな黄緑色の鳥たちの姿を目にするようになりました。チーチーと鳴き交わしながら木々を行き来しています。枝に残されたザクロの実を見つけると、からだを逆さにして夢中になって実をついばんでいます。その名のとおり目の周りが白く、春を告げる鳥とも言われるメジロです。メジロが押し合いへし合い枝に止まるようすは、「目白押し」の語源になったようです。

早いもので1月が行き、2月4日は暦の上で春を迎える「立春」です。その前の日の2月3日が、冬と春の季節を分ける「節分」になります。

昔は、節分の日に「豆まき」をする家庭が多く、私もこの行事を楽しみにしていた子どもの一人でした。「鬼は外! 福は内!」と、この日だけは、家の中で豆をまかせてもらえるのですから…。豆まきのあとは、自分の年より一つ多くの豆を食べたものです。最近では、巻き寿司を恵方巻きとして食べることも人気ですが、さて皆さんのご家庭はいかがでしょう。

先日、1年生の子どもたちが、紙コップと毛糸を使って熱心に鬼の作品を作っていました。節分を前に、赤や青、黄色などのかわいらしい鬼たちが、教室前になかよく並んで飾られています。さて、子どもたちが心に抱えているのはどんな鬼でしょうか。「寒がり鬼」や「朝寝坊鬼」、「自分勝手鬼」など、自分の中の悪い鬼は、「鬼は一外!」と追い払って、新しい気持ちで春を迎えてほしいです。

学校では、冷たい北風が吹く日も子どもたちは元気いっぱい外遊びを楽しんでいます。なわとびの練習に励む子どもたちもたくさんいます。新しい技に挑戦し、少しずつ上手になるのがたまらなくうれしいようです。自ら努力してできるようになることで自信をつけ、子どもたちはどんどんたくましくなっています。

もう2ヶ月もすると、進級・進学です。寒さに負けず、子どもたちが元気に学び遊んでいるうちに、春は少しずつ近づいてきます。感染症に気をつけて、寒さの厳しい時季を乗り切りたいと願っています。

コロナ禍のなかでも、子どもたちが楽しく有意義な学校生活を送れるよう、ご家庭や地域でも励ましのお声かけを引き続きよろしくお願いいたします。

☆新型コロナウイルス感染症に関して

新型コロナウイルス感染症が、市内でも広い範囲で猛威を振るっており、感染が拡大しております。校内で濃厚接触者が認められた場合は保健所や場合によっては学校から連絡があります。連絡がない場合は、その可能性はありませんのでご安心ください。

こういった感染症への対策には、手洗いやマスクの着用、人込みを避けるといったことが考えられます。また、冬でも水分補給が大切です。水筒を忘れないようにして下さい。

もちろん、こういった対策をしても、感染してしまうことがあります。もし体調がすぐれないようでしたら、無理して登校させずに病院で診察を受けていただくことも大切です。ご家庭の方でも十分ご配慮いただきますよう、お願いいたします。また、お困りのことがありましたら、学校までご相談ください。



☆ミマモルメへ登録をお願いします

新型コロナウイルス感染症による臨時休校の連絡などができるように、「ミマモルメ」への登録をお願いします。

まだ、登録がお済みでない方は、

①以下のアドレスかQRコードから仮登録をしたあとに、

②ミマモルメからの届く封筒に記載されたIDとパスワードを入力して、正式登録をお願いします。(一斉メールの登録は無料です)

なお、仮登録だけで、正式登録をしていない場合は、メールが配信されません。

また、メール配信は、学年毎に配信する場合がありますので、きょうだいがいる場合は、それぞれのお子様の学年での登録をお願いします。

<https://hanshin-anshin.jp/entry/>



もし、登録したのに、メールが配信されない場合は、ミマモルメから送信されるメールが、お手持ちの携帯電話またはスマートホンでの設定で、迷惑メールとして処理されている可能性があります。

「mimamorume@hanshin-anshin.jp」から送信されるメール、または、「hanshin-anshin.jp」のドメインから送信されるメールを受信できるように、迷惑メールの設定を変更して下さい。

